Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.257

2026
12.2(水)
12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆発表者紹介
12:15-12:40 ◆プレゼン
12:40-12:50 ◆質疑応答

オンライン (Zoom)
登録はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_QHTa7R6XTtexEJav6fLayA

【技術支援】九州大学 Q-AOS

森を使い、測り、未来へつなぐ
– 九州大学演習林から –



4 質の高い教育をみんなに　6 安全な水とトイレを世界中に　13 気候変動に具体的な対策を　15 陸の豊かさも守ろう　17 パートナーシップで目標を達成しよう

Keywords
演習林　森林管理
里山　竹林
長期モニタリング　知のレジリエンス

久米 朋宣 教授
九州大学 農学研究院 環境農学部門（演習林）

1997 年東京農工大学農学部卒業。神奈川県勤務を経て、2006 年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了、博士（農学）。日本学術振興会特別研究員、国立台湾大学助理教授・副教授を経て、2018 年 2 月九州大学農学研究院准教授。2023 年 4 月より同教授、2025 年 4 月より九州大学演習林長。森林水文学・生態水文学を専門とし、森林の水・炭素循環と管理の関係を研究している。

森は、使わずにおけば守れるのでしょうか。森林の利用や環境が変化する中、保全や管理に一つの正解があるとは限りません。本講演では、九州大学演習林での里山の管理と水・炭素循環の観測を紹介します。異なる管理を試し、森の変化を長期に記録することで、現在の課題に答えるとともに、未来の新しい問いに役立つ森と知を残す。そのような演習林の役割を、異分野との協働の可能性も含めて考えます。

Contact Information　Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS)　744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN　Tel: +81-092-802-2605